

地域と共に育てよう！ふるさとを愛する藤っ子

大野市蕨生小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	25回(のべ)30日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	35人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	62人
その他()	
	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

蕨生小学校は日本百名山に数えられる名峰「荒島岳」の麓にあり、九頭竜川と真名川の二大河川の間に位置し学校周辺には水田が広がり、近くの川ではホタルの観察も出来る。また、学校近くの埴安姫神社では五穀豊穰と地域の安全を祈願し毎年4月に地元の若者によって、130年間途絶えることなく『蕨生里神楽』が奉納される。豊かな自然と素晴らしい伝統文化を持つこの蕨生の地で、地域の方々の『子どもは地域の宝』との思いを受け、本校では【ふるさとを愛し大切に作る子】を育てたいと願い、特色ある教育活動の一環として「ふるさと学習」を進め、全校児童が『蕨生ふるさと探検隊』となり、“ふるさと蕨生”の歴史や自然を学ぶ活動を続けてきた。

『蕨生ふるさと探検隊』の活動

- 17年間継続してきた『蕨っ子田での米作り』に加え、7年前からは『蕨生里神楽』の舞とお囃子の伝統を引き継ごうと、地域のご支援を受け『蕨生里神楽』をやや簡略化した『蕨生子神楽』の練習に取り組み、埴安姫神社での披露をはじめ、「お米フェスティバル(地域の方々を招待しての収穫感謝祭)」や地域の行事・施設等で発表をしてきた。「わらび環境保全協議会」等地域の関係団体の協力のもと、「ふるさと蕨生の自然や歴史をもっと知ろう」ということで、ホタルの観察会・九頭竜川の生き物調査や地域の史跡の調査など年間を通して地域の探検活動を行ってきた。
- 本年度は平成24年4月の富田小学校との統合を控え保護者からも「ふるさとを学びたい。」との声があり、PTA行事『親子ふるさと巡り』を実施した。“ふるさと蕨生”を徒歩で巡りながらその歴史を学ぼうという企画で、3時間あまりで6kmを歩き通した。地域の方々より『唯野小学校の始まりと南専寺山門・庭園』『蕨生里神楽の爺・婆の面』『薬師堂の由来と庭園・拝領の門』などのテーマで説明をお聞きした。貴重なお話を聞き、親子共々『ふるさと』の素晴らしさを再確認し、地域の一員として“ふるさと蕨生”をこれからも大切にしていこうという思いがより一層強まった。



成果と課題

- 『蕨生子神楽』をはじめとする『蕨生ふるさと探検隊』の活動や『親子ふるさと巡り』等の活動を通して、子ども達も保護者も地域の一員としての意識がより高まり、文化や伝統を大切に受け継いでいこうという思いが高まったが、統合により地域の核となる学校がなくなることで、伝統文化をどのようにして継承していけばいいのか……。児童も保護者も地域も困惑している。今後は、保護者と地域が連携しながらよりよいあり方を模索していきたいと考えている。